

埼玉の私立中学校は

いまなぜ 埼玉の私立中学校なのか

◆公立から私立中学校の時代に

公立小学校から公立中学校に進み、高校進学段階になって初めて「受験」という体験をするというのが、昔は普通でした。

中学校の間は近所の公立に通い、高校進学に際して、初めて高校の校風や大学進学実績を見ながら、私立高校または公立高校について、あれこれと学校選びをする。それが普通だったのです。

ところが、ちょうどいまの保護者のみなさまが子どもの時代から、「中学受験」というスタイルがめだつようになり、私立の中高一貫校に注目が集まり始めました。

子どもの「将来」を考えると、私立の中高一貫校の魅力は「6年間の教育そのもの」にある、ということに気づいた保護者のみなさまのご支持が拡大していったことが、その背景にあります。

ここ埼玉でも、私立の中高一貫校にお子さまをお預けいただくご家庭がどんどんと増え、「中学受験」はごくごく当たり前の選択肢となったのです。

◆私立中学校が選ばれる理由

中高合わせて6年間に有効に使い、独自の教育理念をベースに教育を推し進めるのが私立中高一貫校です。

その特長は、伸長を続ける大学進学実績だけにあるわけではありません。学校全体で

子どもに寄り添い、ともにその「将来」を考えてくれる6年間の教育そのものにあります。そのことが保護者の方々にも認知されてきたのです。

では、「公立」とは違う私立の中高一貫校とはいったいどういう学校なのでしょう。

まず、私立の中学校には基本的に学区はありません。原則として、どこでも自分に合った学校を選べます。

中高一貫校は、6年間というタームで教育を考えていますから、計画的に継続した教育カリキュラムを組むことができます。そして、そのなかで生まれるゆとりを、授業とは離れたさまざまな教育活動にあてることができるので、そこから情操教育や国際理解教育など、各校の教育理念に照らして「その学校らしい」教育を展開することができるのです。

私立中学校が推し進めてきた「一貫教育のよさ」に「公立の側」も、ようやく気づき「公立の中高一貫校」さえ生まれてきています。

そして、私立の中高一貫校が注目されている最も大きなワケは、それぞれ独自の教育理念を持った学校のなかから、各家庭に合った学校を選ぶことができる「学校選択の自由」にあるといえます。

子どもたちの「夢」をかなえる 埼玉の私立中学校

◆広がる学校選択の幅

埼玉の私立中高一貫校は、それぞれ魅力がある29校がラインナップしています。この